

平成31年度 調布市立第五中学校 家庭 第2学年 年間指導計画・評価計画

1 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。


2 評価の観点及びその趣旨

- (1) 生活や技術への関心・意欲・態度・・・衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
- (2) 生活を工夫し創造する能力・・・衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。
- (3) 生活の技能・・・生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
- (4) 生活や技術についての知識・理解・・・家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 各学年の目標

4 指導計画・評価計画表

月	時間	指導計画	評価規準	評価方法
4	3	ガイダンス（1時間扱い） 今年度の授業の進め方 B 食生活と自立 3 調理をしよう（4時間扱い） ①調理の計画 ②調理の基本 ③魚の調理 ⑤野菜の調理 ・魚や野菜の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。	・これからの学習に対して、意欲的に取り組もうとしている。（関） ・日常食の調理に関心をもち、調理技術を習得しようとしている。（関） ・食品の調理上の性質について理解している。（知） ・加熱調理と調味の要点について理解している。（知） ・食品や調理用具の安全と衛生に留意した取り扱い方について理解している。（知） ・基礎的な日常食の調理について、調理に必要な手順や時間を考えて計画したり、食品の調理上の性質を生かした調理を工夫したりしている。（工）	・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 等
5	4	・調理実習の準備をする。（役割分担と作業に必要な服装を確認する。） ・安全と衛生に気を付けて調理をする。 ・試食をする。 ・後片付けをする。 C 衣生活・住生活と自立 2 衣生活の自立 1 日常着の活用（7時間扱い） 1自分らしくコーディネート 2衣服のはたらき ・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考え、衣服の働きをまとめる。	・食品や調理用具等の安全と衛生に配慮し、調理実習で実践しようとしている。（関） ・調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。（技） ・安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。（技） ・衣服と社会生活とのかかわりに関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。（関） ・衣服の社会生活上の機能について理解している。（知） ・目的に応じた着方を考え、工夫している。（工） ・自分らしい着方を工夫している。（工）	・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・評価用紙記述 ・実習の準備 ・実習時の活動の観察 等

6	4	<p>3 衣服の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋服と和服の特徴と構成の違いを理解できる。 <p>4 衣服の入手計画と選び方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手もちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製の適切な選択方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服と和服の違いを知り、和服の文化について理解している。(知) ・衣服の過不足や処分について考え、衣服の計画的な活用の必要性を理解している。(知) ・既製の表示の意味について理解している。(知) ・既製服を選択するための情報を収集・整理することができる。(技) 目的に応じた衣服の適切な選択について考え、工夫している。(工) ・衣服の活用や管理について、自分なりに工夫している。(工) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・ノート記述 ・発言内容 ・定期テスト 等
7	3	<p>3 布を用いた物の製作（14時間扱い）</p> <p>1 製作しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活を豊かにするための工夫をしよう ・『豆ざぶとん』の製作 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しをもつ。 <p>① しるしつけ</p> <p>② 布を裁つ</p> <p>③ 縫う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作に関心をもって取り組み、家族や自分の生活をより豊かにしようとしている。(関) ・衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫している。(工) ・なみ縫い、返し縫い、玉どめ、玉結びなど正確に縫うことができる(技) ・丁寧に、きれいに縫うことができる。(技) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品 等
8	0			
9	3			<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品 等
10	4		<p>④ 綿を入れる</p> <p>⑤ 飾りひもを縫いつける</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・綿を入れて、コノ字とじで正確に縫うことができる。(技) ・飾りひもを縫いつけることができる。(技)
11	4	<p>⑤ 刺し子をする</p> <p>⑥ 仕上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・刺し子の図や柄を自分なりに工夫することができる。(工) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子の観察 ・作品 ・ノート記述 ・発言内容 ・定期テスト 等

12	4	<p>2 日常着の手入れ（7時間扱い）</p> <p>1 衣服の汚れと手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。 <p>2 衣服の素材と手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 取扱い絵表示の意味を理解して、適切な手入れの方法を知る。 <p>3 衣服の洗濯</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服素材に合った洗剤を適切に選び、取扱い絵表示を参考にして、洗濯を工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修について考え、工夫している。(工) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心をもち、洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。(関) 衣服の材料や状態に応じた洗濯や補修ができる。(技) 洗濯の要点と方法について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を観察 ノート記述 発言内容 等
1	3	<p>家庭実践の計画と発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭で実践できる計画を立てる。 実践内容の発表（紙面・言語） <p>4 衣服の収納・保管</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服を適切に収納・保管する方法を工夫できる。 <p>◎ 環境に配慮した衣生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を生かし、家庭での実践計画を工夫することができる。(工) 自分の実践を分かりやすくまとめ、表現しようと工夫している。(工) 衣服の適切な収納・保管の方法を工夫することができる。(工) 環境に配慮した衣生活への取り組みを工夫し、考えることができる。(工・技) 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 活動の様子を観察 ノート記述 発言内容 等
2	4	<p>1 住生活の自立（6時間扱い）</p> <p>1 住まいのはたらき</p> <p>1 住まいの様々な役割</p> <p>2 共に住まう</p> <p>2 健康で安全な住まい</p> <p>1 家族の健康と室内環境</p> <p>2 家庭内の安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな住まいを知り、住まいに関心をもち、住生活をよりよくしようとしている。(関) 住まいの役割や基本的な機能について理解している。(知) 自分や家族の住空間と生活行為とのかわりについて関心をもっている。(関) 安全な室内環境に関心をもち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。(関) 安全な室内環境になるよう、安全管理の方法を理解している。(知) 健康で快適な室内環境の条件を理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を観察 ノート記述 発言内容 定期テスト 等
3	2	<p>3 住まいと地域</p> <p>3 地域に配慮した住まい方</p> <p>これからの住生活と環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害への備えの必要性を理解し、住まいや地域における工夫を考える。(工) 家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見付け、改善の方法を考える。(工) 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を観察 ノート記述 発言内容 等

◎ 家庭での実践 長期休業などを利用し課題としてレポートにまとめる。

(1) 生活の課題と実践

- 学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の衣生活・住生活を 見直す。
- 課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立てて実践する。

計 38時間